

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 713 号	氏名	Mutungi、Joe Kimanthi
学位審査委員	主査	由井 克之	
	副査	平山 謙二	
	副査	濱野 真二郎	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、マラリア原虫メロゾイトによる赤血球侵入の分子機構を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 マラリア原虫と近縁のトキソプラズマ原虫細胞侵入機構において、Rhoptry Neck Protein 5 (RON5)分子が重要な役割を果たすことから推測し、マラリア原虫 <i>Plasmodium yoelii</i> RON5 分子の構造、発現、局在、原虫の細胞侵入に際し形成される移動接合体への関与について解析しており、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、マラリア原虫メロゾイトの RON5 が移動接合体形成に関わる複合体の一部を形成することを明らかにした。さらに、RON5 が肝臓感染型のスポロゾイトにも発現することを示し、マラリア原虫感染の分子機構解明に向けて今後の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はマラリア学の発展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			